

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	51	55	57.6	60.8	
	施設1㎡当たりのコスト(円)	17,761	16,783	18,187	18,291	
	来園者1人当たりのコスト(円)	-	2,277	2,468	2,504	
	開園1日当たりコスト(円)	-	2,848,866	3,087,147	3,114,586	
	受益者負担比率(%)	1	50	47.4	45.9	
備考	平成30年12月から3年度まで休園し改修工事を行ったため、使用料収入がほとんどない一方で、工事費の支出や園内の維持管理費用が発生した。令和4年4月21日にリニューアルオープンし営業を再開している。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: 荒川区実施計画)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	年間利用者数	目標値	—	500,000	500,000	500,000	500,000
		実績値	—	385,937	403,956	396,795	500,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	小さな子ども連れの子育て世代を中心に、安全に安心して楽しむことができる施設としてニーズが高い。						
現状・課題	○来園者に安全かつ安心に楽しんでもいただけるよう、ハード、ソフト両面から安全第一の運営体制を維持していくことが重要である。 ○子どもから大人まで、幅広い世代の来園者が楽しく快適に過ごしていただけるよう、ホスピタリティ溢れるサービスの提供が求められている。 ○あらたな客層の取り込みや来園者のリピート率の向上など、中長期的な集客向上に向けた様々な取り組みを実施する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○各施設の安全点検の徹底をはじめ、区と各事業者間の連携を強化し、事故の未然防止に向けた意識向上を図る。 ○運営スタッフ一人一人が荒川遊園の顔であるという自覚を持ち、自ら考え行動できるようレベルアップに努める。 ○区、各事業者それぞれが持てる能力を生かして様々なアイディアを出し合い、イベントの実施等、年間を通して荒川遊園の魅力を引き出す取り組みを継続的に実施していく。						
議会、利用者等からの意見	【令和5年度6月会議】①D地区整備を促進すべき ②イルミネーションにBDFによる発電を活用すべき 【令和5年度2月会議】大人の層が魅力を感じる取り組みの強化を 【令和6年度2月会議】経営課題の整理と実行計画の策定、管理を						

